

除染について

日本放射線技術学会放射線防護分科会

平成 23 年 3 月 16 日

表面汚染が確認された場合に除染は有効な手段ではありますが、手技を誤れば内部被ばくを招くこともあります。適切に除染を実施していただくための参考になるよう本文書を作成しました。

除染は、シャワーや拭き取りで充分です。シャワーで行う場合であっても、目・鼻・口・耳等に流水が入らないよう、頭部や顔面はできるだけ拭き取りで実施した方が良いでしょう。

創傷部の汚染：医師による洗浄やデブリードマン等を、他部位の除染より優先的に実施する。

頭髪および頭部皮膚：湿らせた布やウエットティッシュ等で、毛先の方向へ拭き取る。

目：生理食塩水や水道水用い、除染する方を下に向け、受け皿を用意して洗浄し、その後ペーパータオル等で拭き取る。

鼻：鼻をかませて、その後湿った綿棒で拭き取る。

口：ウエットティッシュや湿らせた綿棒等で口角部を拭き取り、その後うがいをする。

耳：表面を拭き取り、湿った綿棒で耳の穴を拭き取る。

皮膚：シャワーや中性洗剤をつけた布での拭き取りを行い、除染が不十分な場合はスポンジ等を使ってみると良いが、肌に荒れや傷を作らないよう強くこすらないこと。なお、このスポンジ等は再利用してはなりません。

汚染部位を拡大させないよう、非汚染部へ向かう方向へ拭き取りはしないようにする。

服は洗濯すれば着用できますが、他の衣類と一緒に洗濯をしないようにする。